



東松峠ウォーキング大会 2018



會津若松建設事務所 祭俱樂部「やってみっ会」活動体験記

Vol. 134



開会式の様子

頂上に到着！



峠の茶屋跡



戊辰戦争後、秋月悌次郎が、「いづれの地に君を置き、また親を置かん」という慟哭の詩『北越潜行の詩』がここで詠まれました。



往復約10kmのコース



おいしいな♪

天屋のそば



歩きやすい道



お疲れ様でした！



きれいに整備されています



凝灰岩層が多く見られます

実施日：平成30年10月20日（土）

会津坂下町の東松峠で実施された「東松峠ウォーキング大会2018」にやってみっ会から3名と、その家族2名の合計5名が参加し、総勢約130名がウォーキングを楽しみました。歴史の名所を詳しく説明してくれる地元の方や色づき始めた紅葉に癒やされて歩きました。途中、あんこ餅の振る舞いやそばの販売があったりと小さい子供でも飽きずに歩けたあっという間の10kmでした。到着後、豚汁や地元のお母さん特製の漬け物、甘い梅漬けが振る舞われる中、抽選会が行われ、大変盛り上がりました。